



MacBook Pro 15インチ Unibody Mid 2012 RAM の交換

MacBook Pro 15インチ Unibody Mid 2012 RAMの交換です。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

このガイドを参照してRAMにアクセスしてアップグレードしましょう。



ツール:

- スパッジャー (1)
- プラスクリュードライバー(#00) (1)



部品:

- MacBook Pro 15" Unibody Mid 2012 Memory Maxxer RAM Upgrade Kit (1)
- PC3-12800 2 GB RAMチップ (1)
- PC3-12800 4 GB RAMチップ (1)
- PC3-12800 8 GBチップ (1)

手順 1 — 底ケース



- 底ケースを固定している以下の10本のネジを外します。

- 13.5 (14.1) mm プラスネジ—3本

- 3 mm プラスネジ—7本

- ☑ このネジを外すときには、ネジが少し斜めに装着されていることに注意してください。再インストールの際は、同じように取り付けてください。

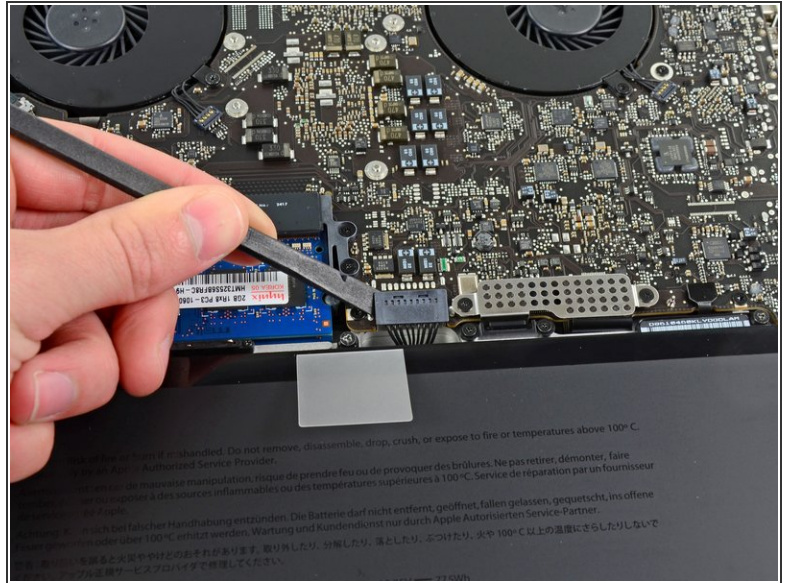
手順 2



- 両手を使用して排気口の近くから底ケースを持ち上げて、上部ケースに固定している2本のクリップを外します。

- 底ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリーコネクタ

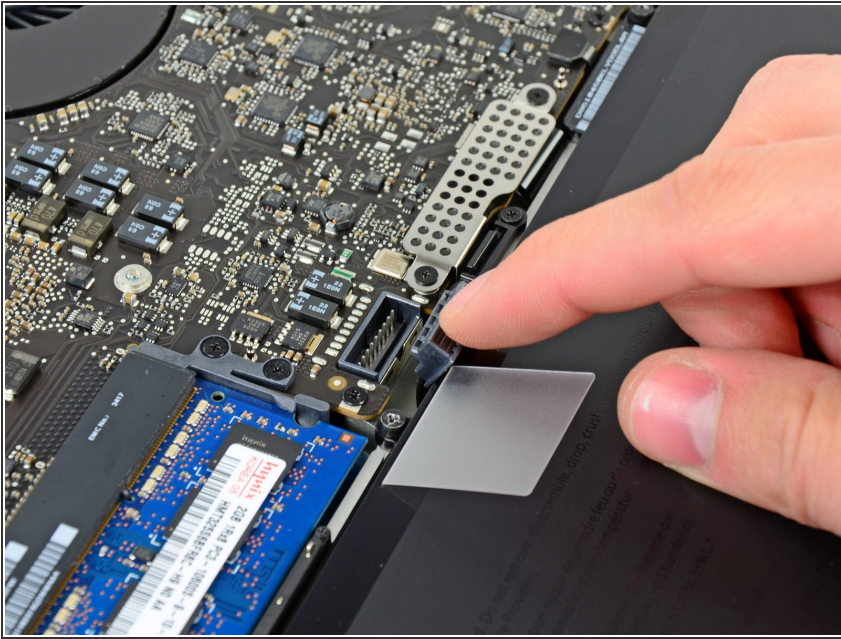


✎ ※特定の修理（ハードディスクドライブなど）の場合はバッテリーを取り外す必要はありませんが、マザーボード上で誤ってショートさせてしまうのを防ぐ事が出来るので推奨されます。バッテリーを外さない場合は、マザーボード上の部品が帯電している可能性があるので注意してください。

- ナイロンスパッジャーの端を使って、バッテリーコネクタをメイン基板上のソケットから持ち上げてください。

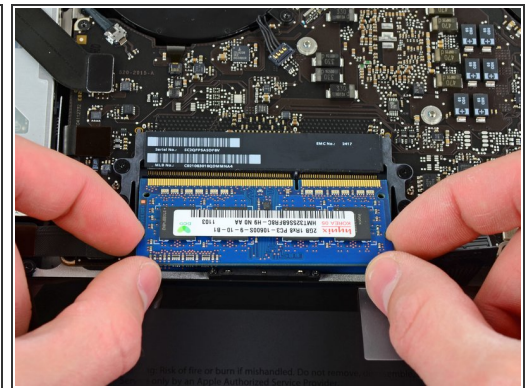
i ソケットから接続を外す際、コネクタの縦側の両サイドを上向きに持ち上げると簡単です。

手順 4



- バッテリーケーブルをソケットから離すように少し曲げておき、作業中に誤ってメイン基板に接触しないようにします。

手順 5 — RAM



- RAMモジュールから両側のタブを同時に両サイドへ引き、RAMチップの各サイドに付いているタブを解放します。
- ⓘ これらのタブがチップを固定し、外すときは”飛び出す”ようにチップが外れます。
- RAMが飛び出した後は、まっすぐソケットから引っ張ります。
- 🔁 2番目のRAMチップをインストールする場合はこのプロセスを繰り返します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。